



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月2日  
東

上場会社名 荒川化学工業株式会社 上場取引所  
 コード番号 4968 URL <https://www.arakawachem.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宇根 高司  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 延廣 徹 (TEL) 06-6209-8500  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 2020年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	32,220	△11.9	969	5.3	1,167	2.2	710	56.4
2020年3月期第2四半期	36,558	△7.5	920	△51.4	1,142	△48.5	454	△68.1

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,512百万円( -%) 2020年3月期第2四半期 5百万円( △99.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	35.83	—
2020年3月期第2四半期	22.13	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	92,233	55,103	57.9
2020年3月期	90,600	54,027	58.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 53,421百万円 2020年3月期 52,546百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	22.00	—	22.00	44.00
2021年3月期	—	22.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	67,500	△7.5	2,700	4.9	3,000	2.5	1,800	3.9	90.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	20,652,400株	2020年3月期	20,652,400株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	813,271株	2020年3月期	813,271株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	19,839,129株	2020年3月期2Q	20,536,891株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済および国内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあります。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、同感染症拡大の防止策を徹底し、生産活動等の維持、継続に努めるとともに、2016年度よりスタートしました第4次中期5ヵ年経営計画の方針（「事業の新陳代謝」や「真のグローバル化」など）に沿った重点施策を進め、事業の拡大や収益性の向上、事業開発の促進に注力してまいりました。しかしながら、業績面では、同感染症の影響により需要環境が悪化し、販売数量の想定を超える大幅な減少が収益に影響しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は322億20百万円（前年同期比11.9%減）、営業利益は9億69百万円（同5.3%増）、経常利益は11億67百万円（同2.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億10百万円（同56.4%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、セグメント区分の売上高はセグメント間の内部売上高を含んでおりません。

#### <製紙薬品事業>

製紙業界は、eコマース市場（電子商取引）の世界的な成長に伴う、段ボール原紙など板紙の潜在需要はあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響による需要低下がありました。また、印刷業界では、同感染症の影響により出版・広告分野で市場の縮小が加速しております。このような環境のもと、当事業におきましては、サイズ剤に加え板紙向け紙力増強剤などの販売が大幅に減少しました。

その結果、売上高は78億70百万円（前年同期比19.0%減）、セグメント利益は50百万円（同73.8%減）となりました。

#### <コーティング事業>

電機・精密機器関連業界は、新型コロナウイルス感染症の影響により、車載向け電子部品やスマートフォン向けの需要低下がありました。また、印刷インキ業界では、同感染症の影響により出版・広告分野で市場の縮小が加速しております。このような環境のもと、当事業におきましては、印刷インキ用樹脂や塗料用樹脂などの販売は大幅に減少しましたが、機能性コーティング材料用の光硬化型樹脂の販売は5G関連分野の伸びがあり好調に推移しました。

その結果、売上高は71億46百万円（前年同期比9.5%減）、セグメント利益は6億26百万円（同50.0%増）となりました。

#### <粘接着事業>

粘着・接着剤業界は、新型コロナウイルス感染症の影響により、自動車関連分野を中心とした需要低下がありました。また、世界的に紙おむつ向け接着剤の需要は堅調に推移しておりますが、同感染症の影響による一時的な弱さが見られました。このような環境のもと、当事業におきましては、自動車関連分野を中心にロジン系粘着・接着剤用樹脂の販売が大幅に減少しました。水素化石油樹脂は、市場における需給バランスの軟化や同感染症の影響により、販売が減少しました。

その結果、売上高は114億10百万円（前年同期比12.6%減）、セグメント利益は4億71百万円（同16.0%減）となりました。

#### <機能性材料事業>

電子工業業界は、新型コロナウイルス感染症の拡大を背景とするテレワークの増加などによる電子媒体関連や5G関連分野の需要は堅調に推移しました。一方で、同感染症の影響により、自動車関連分野や電子部品、スマートフォンの需要が低調でした。このような環境のもと、当事業におきましては、ファインケミカル製品や精密研磨剤の販売は堅調に推移しましたが、精密部品洗浄剤や電子材料用配合製品などの販売は減少しました。

その結果、売上高は56億52百万円（前年同期比1.4%減）、セグメント利益は1億円（同48.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ16億33百万円増加し、922億33百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が31億1百万円減少した一方、現金及び預金が8億89百万円、有形固定資産が22億74百万円、投資有価証券が12億64百万円増加したことによります。

負債は、支払手形及び買掛金が16億2百万円減少した一方、短期借入金が27億24百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ5億57百万円増加し、371億29百万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ10億75百万円増加し、551億3百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ8億89百万円増加し、104億34百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、29億10百万円の増加となりました。これは、仕入債務が減少(15億51百万円)した一方、税金等調整前四半期純利益(12億86百万円)、減価償却費(14億41百万円)、売上債権の減少(31億19百万円)などにより資金が増加した結果であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、42億17百万円の減少となりました。これは、固定資産の取得による支出(42億28百万円)が主なものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、22億48百万円の増加となりました。これは、借入金の純増加(27億27百万円)が主なものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月8日に公表しました2021年3月期の通期業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2020年11月2日)発表の「第2四半期業績予想と実績との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(参考)

2021年3月期通期連結業績予想数値の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	73,000	3,200	3,500	2,100	105.85
今回修正予想(B)	67,500	2,700	3,000	1,800	90.73
増減額(B-A)	△5,500	△500	△500	△300	—
増減率(%)	△7.5	△15.6	△14.3	△14.3	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	72,967	2,574	2,927	1,732	85.35

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,636	10,526
受取手形及び売掛金	22,789	19,687
電子記録債権	1,656	1,518
商品及び製品	8,803	8,792
仕掛品	912	996
原材料及び貯蔵品	6,399	6,752
その他	1,248	1,091
貸倒引当金	△109	△104
流動資産合計	51,337	49,259
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,227	8,069
機械装置及び運搬具（純額）	6,729	6,285
土地	5,147	4,994
建設仮勘定	10,310	13,238
その他（純額）	630	730
有形固定資産合計	31,044	33,318
無形固定資産		
のれん	262	153
その他	988	1,092
無形固定資産合計	1,250	1,245
投資その他の資産		
投資有価証券	5,919	7,184
退職給付に係る資産	264	254
繰延税金資産	268	294
その他	349	342
貸倒引当金	△63	△60
投資その他の資産合計	6,738	8,015
固定資産合計	39,034	42,579
繰延資産		
開業費	228	393
繰延資産合計	228	393
資産合計	90,600	92,233

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,174	7,572
短期借入金	5,100	7,825
未払法人税等	293	375
未払消費税等	212	67
賞与引当金	1,177	1,086
役員賞与引当金	45	15
修繕引当金	—	75
設備関係支払手形	227	108
その他	4,780	4,185
流動負債合計	21,011	21,310
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	3,945	3,879
繰延税金負債	602	976
修繕引当金	45	—
退職給付に係る負債	322	318
資産除去債務	339	337
その他	307	308
固定負債合計	15,560	15,819
負債合計	36,572	37,129
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,343	3,343
資本剰余金	3,564	3,564
利益剰余金	44,969	45,243
自己株式	△1,210	△1,210
株主資本合計	50,665	50,939
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,886	2,697
為替換算調整勘定	494	270
退職給付に係る調整累計額	△499	△486
その他の包括利益累計額合計	1,881	2,481
非支配株主持分	1,480	1,681
純資産合計	54,027	55,103
負債純資産合計	90,600	92,233

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	36,558	32,220
売上原価	28,922	24,785
売上総利益	7,636	7,435
販売費及び一般管理費	6,715	6,465
営業利益	920	969
営業外収益		
受取利息	15	24
受取配当金	114	99
不動産賃貸料	49	46
受取保険金	146	28
受取補償金	5	82
その他	50	65
営業外収益合計	382	348
営業外費用		
支払利息	79	69
為替差損	41	26
その他	39	54
営業外費用合計	161	150
経常利益	1,142	1,167
特別利益		
固定資産売却益	0	5
投資有価証券売却益	21	163
為替換算調整勘定取崩益	7	—
特別利益合計	29	169
特別損失		
固定資産除売却損	13	48
出資金売却損	15	—
出資金評価損	—	2
操業休止関連費用	91	—
特別損失合計	119	50
税金等調整前四半期純利益	1,052	1,286
法人税、住民税及び事業税	309	402
法人税等調整額	95	△17
法人税等合計	405	385
四半期純利益	647	901
非支配株主に帰属する四半期純利益	192	190
親会社株主に帰属する四半期純利益	454	710

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	647	901
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△214	810
為替換算調整勘定	△409	△213
退職給付に係る調整額	△17	13
その他の包括利益合計	△641	611
四半期包括利益	5	1,512
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△124	1,311
非支配株主に係る四半期包括利益	130	200

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,052	1,286
減価償却費	1,323	1,441
のれん償却額	140	108
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△9	△5
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△40	△88
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△45	△30
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	7	△3
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△55	10
固定資産除売却損益 (△は益)	13	42
投資有価証券売却損益 (△は益)	△21	△163
出資金売却損益 (△は益)	15	—
出資金評価損	—	2
為替換算調整勘定取崩益	△7	—
操業休止関連費用	91	—
受取利息及び受取配当金	△129	△124
支払利息	79	69
売上債権の増減額 (△は増加)	5,423	3,119
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,888	△503
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,382	△1,551
未払消費税等の増減額 (△は減少)	92	△137
その他	△1,058	△531
小計	5,376	2,940
利息及び配当金の受取額	129	129
利息の支払額	△58	△73
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△928	△85
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,519	2,910
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△5,852	△4,067
有形固定資産の売却による収入	10	158
投資有価証券の取得による支出	△23	△117
投資有価証券の売却による収入	30	165
無形固定資産の取得による支出	△66	△161
繰延資産の取得による支出	△82	△164
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	1	0
その他	△9	△31
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,992	△4,217

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,523	2,793
長期借入金の返済による支出	△30	△66
自己株式の取得による支出	△439	—
非支配株主への払戻による支出	△173	—
配当金の支払額	△454	△436
非支配株主への配当金の支払額	△0	—
その他	△804	△42
財務活動によるキャッシュ・フロー	△377	2,248
現金及び現金同等物に係る換算差額	△117	△51
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,968	889
現金及び現金同等物の期首残高	8,970	9,545
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,002	10,434

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響について)

当社グループでは、新型コロナウイルス感染症の影響について、当第2四半期連結累計期間の業績も踏まえ、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した同感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定を変更しております。

当第2四半期連結累計期間において、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、当社グループに関連する製紙業界、印刷インキ・塗料業界、自動車業界などの需要環境が想定以上に悪化しました。

当連結会計年度における同感染症の影響につきましては、このような状況が2021年3月期を通して継続するものの、第3四半期連結会計期間より需要が緩やかに回復していくものと仮定し、固定資産の減損会計の適用及び繰延税金資産の回収可能性の判断等について会計上の見積りをおこなっております。

なお、当該見積りは現時点の最善の見積りであるものの、感染拡大の長期化による経済活動の停滞が懸念される状況下において、見積りに用いた仮定の不確実性は高く、上記の仮定に状況変化が生じた場合には当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	製紙薬品	コーティング	粘接着	機能性材料	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,715	7,900	13,054	5,732	36,402	155	36,558
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	12	12
計	9,715	7,900	13,054	5,732	36,402	167	36,570
セグメント利益	193	417	561	194	1,367	16	1,383

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産管理等を含んでおります。

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,367
「その他」の区分の利益	16
全社費用の配賦差額(注) 1	△50
コーポレート研究開発費用(注) 2	△147
営業外損益(注) 3	△264
四半期連結損益計算書の営業利益	920

(注) 1 全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。

2 コーポレート研究開発費用は、中長期での成長の源泉となる、報告セグメントに配賦しない新規研究開発費用であります。

3 営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

## 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	製紙薬品	コーティング	粘接着	機能性材料	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,870	7,146	11,410	5,652	32,079	141	32,220
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	16	16
計	7,870	7,146	11,410	5,652	32,079	158	32,237
セグメント利益	50	626	471	100	1,248	11	1,260

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産管理等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,248
「その他」の区分の利益	11
全社費用の配賦差額(注) 1	92
コーポレート研究開発費用(注) 2	△188
営業外損益(注) 3	△195
四半期連結損益計算書の営業利益	969

(注) 1 全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。

2 コーポレート研究開発費用は、中長期での成長の源泉となる、報告セグメントに配賦しない新規研究開発費用であります。

3 営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。